

入場無料

しのぎ文化プラザ 第25回企画展示 2014 9.6(土) ▶ 11.9(日)

小岩村の紫煙草舎に暮らし、綴られたきらめく言葉の数々―
詩作のひとつの原風景となった小岩時代と童謡に光を当て、
本展では江戸川区ゆかりの詩人・北原白秋を紹介します。



写真提供：(公財) 日本近代文学館

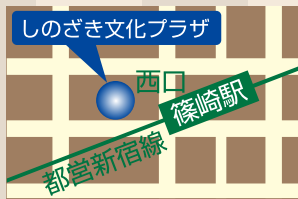
小岩時代と童謡の世界

北原白秋



しのぎ文化プラザ企画展示ギャラリー 3F

江戸川区篠崎町 7-20-19 3F TEL.03-3676-9071(代)
都営新宿線・篠崎駅西口直結 開館時間／9:00～21:30
www.shinozaki-bunkaplaza.com



主催：江戸川区・篠崎SA パブリックサービス 協力：(公財) 北原白秋生家記念財団・柳川市・(公財) 日本近代文学館・北原邦雄・菊美人酒造(株)



白秋と妻子と愛犬哥路(コロ) 紫煙草舎にて 大正6(1917)年

今からおよそ100年前。田園広がるのどかな小岩に、ある文学者が暮らしていました。かの有名な詩人、北原白秋です。

悩み多き青春時代を経て、辿りついた小岩で白秋は雀と遊び、子どもたちに癒され英気を養い創作活動に没頭していきました。

紫煙草舎と名付けた住まいで、同名の結社を興し、雑誌「烟草の花」を創刊した小岩での1年は、白秋芸術をさらなる高みへと押し上げる基盤となったといわれています。その後、童謡の世界で開花した白秋芸術のもうひとつの原点がわが町、江戸川区にあったのです。

北原白秋

小岩時代と童謡の世界

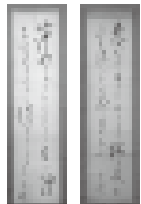
■主な展示■



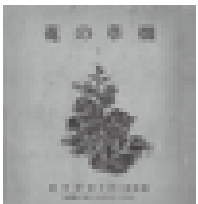
愛犬「哥路(コロ)」について書かれた随筆原稿(複製)



小岩の住所が書かれたハガキ(初出版)(複製)



短歌(掛け軸・2幅)(肉筆)



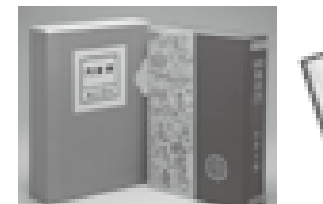
「烟草の花」(複製)
小岩時代に発行された詩歌雑誌
大正5(1916)年



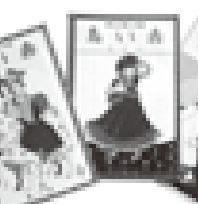
「ARS」創刊号
大正4(1915)年
阿蘭陀書房



「思ひ出」 柳河版



「都家門」 初版復原版



奇路の雑誌「赤い鳥」全巻展示(複製版)
大正7(1918)年～昭和11(1936)年



「ARS」創刊号
大正4(1915)年
阿蘭陀書房



紫煙草舎のイメージイラスト

- 小岩に残る白秋のあしあと：小岩時代の借家「紫煙草舎(しえんそうしや)」再現模型 ほか
- 試聴コーナー：白秋肉声朗読「自作を読む」、白秋作詞「幻の「松江町歌」
- みんなで歌える童謡コーナー：「アメリカ」「ベチカ」「この道」「からたちの花」「砂山」など

★ギャラリーイベント★

★朗読会★
【朗読で味わう白秋の世界】
9月13日(土)14:00～14:45
＊お子様もお楽しみいただけます。
[朗読]越前屋加代(女優)
[会場]しのぎ文化プラザ3F企画展示室
[定員]30名
[参加費]無料
[申込受付]9月2日(火)14:00から
電話受付開始

[演者略歴]
越前屋加代(えちぜんや かよ) 兵庫県立ピッコロ演劇学校卒業。上京後は、劇作家清水邦夫の主宰する劇団木冬社に入団。「楽屋」「咲笑」に出演。「悪童日記」では主演。2000年以降フリーとなり、この頃から朗読を始める。平家物語、近松門左衛門、樋口一葉、太宰治、チェーホフ、曾野綾子、安房直子等。古典から現代作家まで、見て聞いて楽しむ朗読を創っている。昨年より、江戸川区で北原白秋の作品を朗読。



★ギャラリートーク★
【北原白秋物語】連続講座 全3回
第1回 10月5日(日)
第2回 10月19日(日)
第3回 11月2日(日)(白秋命日)
＊いずれの回も14:00～16:00
[講師]北原邦雄(白秋研究家・白秋五親等)
[会場]しのぎ文化プラザ3F講義室
[定員]30名
[参加費]無料
[申込受付]9月21日(日)14:00から
電話受付開始

[講師略歴]
北原邦雄(きたはら くにお) 昭和3(1928)年、東京生まれ。北原白秋の五親等に当たる。慶應義塾大学法学部政治学科卒。(株)玄光社の役員を経て、現在サンプホテルズ(株)役員。東京世田谷ロータリークラブ第42代会長、新世紀三田会会長。
幅広い知識と教養を元に「北原白秋」の講話のほか、「世界の姓名」「クラシック音楽を楽しむ」「観る、聴く、話す映画音楽」などの講演活動を展開中。



★ソプラノ演奏会★
【白秋作品を歌う】
10月25日(土)14:00～14:45
[出演者]青山浩代(ソプラノ)／古垣未来(ピアノ)
[会場]しのぎ文化プラザ3F講義室
[定員]60名
[参加費]無料
[申込受付]10月11日(土)14:00から
電話受付開始

[出演者略歴]
青山浩代(あおやま ひろよ)：ソプラノ フェリス女学院大学音楽学部卒業後、同大学院へ進学。現在、フェリス学院大学大学院の研究生として在籍中。また2014年の春より洗足学園音楽大学大学院へ進学。これまで声楽を渡邊明、吉田伸昭、蔵田雅之、田中奈美子の各氏に師事。第15回ブルハルト国際音楽コンクールにて奨励賞を受賞、第19回宮日音楽コンクール入選。

古垣未来(ふるがき まき)：ピアノ 玉川大学芸術学科作曲専攻卒業。現在、鍵盤奏者・アレンジャーとして、アーティストのライブサポート、レコーディング、劇伴音楽製作等を中心に活動中。またリットーミュージックより、ピアノ教則本「ピアノのコードの押さえ方から弾き方までが身につく本」出版。

★映画観賞会★
【からたちの花】
11月8日(土)14:00～15:45(開場13:30)
[会場]しのぎ文化プラザ3F講義室
[定員]50名
[参加費]無料
[申込受付]10月21日(火)14:00から
電話受付開始

[作品情報]
昭和29(1954)年・日活原作・長谷健、監督・佐伯清。主な出演者：北原隆、牧真介、桂典子、雨宮静子など日活ニューフェイス。他に山村聰、夏川静江、山田五十鈴、伊藤雄之助、宇野重吉、清水元、小夜福子、利根はる恵など。
ストーリー 北原隆吉の家は九州柳河で酒造、海産物の問屋として手広く商売していた。隆吉には両親が勝手にきめた許婚の雪枝という子の娘があったが、彼は女学生の時を好きだった。時子の家に入出入りする英語の先生長部など、隆吉は中学の先生を人格的に信用できなかった。小島先生の数学の時間に、隆吉は詩歌の本を読んでいるのを見つけれ激しく罵られた。先生の態度に憤慨した隆吉は、清介や松尾など級友のとめるのきかず家に帰ってしまふ…。



イベントは事前申込が必要です。
お問い合わせ・申込先：しのぎ文化プラザ TEL.03-3676-9071(代表)